

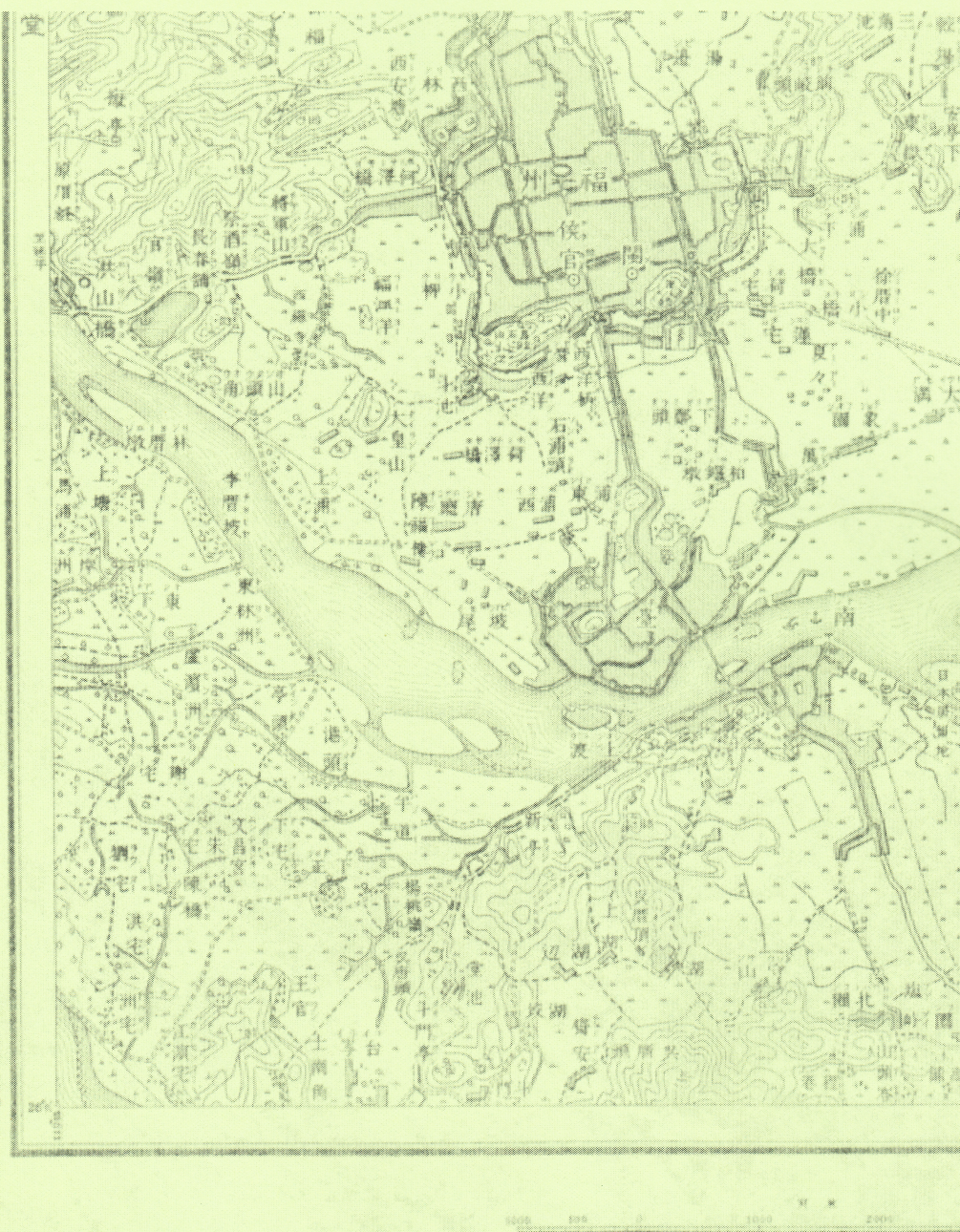
# 外邦図研究 No. 14

## ニューズレター

令和2～4年度科学研究費補助金(基盤研究[B][1] 課題番号:20H01385)

「東アジアにおける日清・日露戦争期の地理情報の収集と活用」

研究成果中間報告書(令和4年度の交付金により刊行)



東亞五万分之一圖

福州十二号

「福州」図幅

1902年測圖

1904年製版

1906年2月9日發行

陸地測量部・参謀本部

アメリカ議会図書館

(LC)蔵、

LCCN:2016589308

本図は北清事変期に福建省に派遣された陸地測量手、久間金五郎など4名の技術者の測量による。

「厦門事件」(1900年8月)の余波で、住民の激しい反日感情のなかで作業が行われ、この図幅にも測量が及ばなかった空白部がみられるが、土地利用や地名(多くにカタカナのルビを付す)についても行き届いた配慮がうかがわれる。

1880年代の陸軍将校による62,200分の1「福州畧圖」や2万分の1「福建城内外并各村縮圖」(アメリカ議会図書館蔵、初期外邦測量原図データベース参照)では、琉球館や「琉球國人ノ埋葬地」を図示するが、本図では日本居留地を示し、時代の変化を反映している。図郭隅の経緯度は、英国製海図によると推定されるが、「福州畧圖」でも閩江の河口にはやはり英国製海図によるものと思われる水深が示されており、英国収集の地理情報への依存が継続していた(本号収録報告参照)。

### 外邦図研究グループ

大阪大学大学院文学研究科人文地理学教室気付

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/geography/gaihouzu/>

2023年3月